

学校教育目標

共に学び合い、生き生きと活動する生徒の育成

校訓

自主
自分の考えをもち、
積極的に学ぶ生徒

明朗
健康で明るく、
友情に厚い生徒

誠実
みんなと協力し、
真剣に取り組む生徒

目標達成のために

目指す生徒像

- ・本気で取り組む生徒
- ・当たり前前のこと
当たり前前ができる生徒

<今年度の合い言葉>

対話・認め合い・自ら考える

目指す学校像

みんなが毎日元気に学べる学校

- ・生徒の充実感（自己有用感・主体的な学び）
- ・教職員の働きがい（チーム上滝・働き方改革）
- ・保護者・地域の安心と信頼
（迅速誠実な対応・情報発信）

- ・年間を通じて出席率を95.0%以上にする。
- ・県中教研学力調査（11月調査）の5教科平均点を、4月調査から3点以上伸ばす。
- ・「周りの人と認め合うために対話を意識している」と回答する生徒を80%以上にする。

学校評価（アクションプラン）

学校教育目標を具現化する教育活動

<富山市版「イエナプラン的教育」を意識した教育活動> ～「教える」から「育てる」へ～
20の原則から ・すべての人はユニーク 8つのミニマムから ・対話 ・ホンモノ性 ・自治
・ワールドオリエンテーションが中心 ・批判的思考を育てる

OGIGAスクール構想推進型学校としての取組

- ・クロムブックを活用した授業の日常化
- ・クラウドドリルによる基礎学力向上
- ・生徒会活動におけるクロムブックの活用

対話的な授業づくりを目指した授業力の向上

- ・学習課題の提示、まとめ、振り返りの徹底と工夫
- ・個別最適な学び、協働的な学びの実現
- ・アウトプットに重点を置いた授業の展開
- ・校内研修の充実と校外研修への積極的参加

非認知能力を伸ばす教育

- ・「本気になる」機会の確保と効果的な指導
- ・「当たり前前のこと当たり前前ができる」具体的な指導
- ・計画的に生徒が主体的に取り組む場の設定
- ・地域人材と連携した授業や講演等の企画
- ・地域活動や行事との連携を通したふるさと教育

自己指導能力育成を目指した生徒指導

- ・自ら考え選択して活動する自己決定の場の提供
- ・生徒理解に努め生徒の自立を促す教師と生徒の対話
- ・教育相談等による生徒が安心できる環境づくり
- ・SC、SSW等にもつながる保護者との対話
- ・児童委員等地域とのさらなる連携強化

「対話と認め合い」を重視した人間関係づくり

- ・自他の個性を認め、相互扶助的で共感的な関係づくり
- ・共生社会を生きる一員としての自覚を形成
- ・生徒自ら考える生徒会活動等の充実
- ・生徒、保護者との認め合える対話の重視

教職員も「対話と認め合いで自ら考える」活動

- ・主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善の推進
- ・在校等時間削減等を目指した働き方改革
- ・教員の資質向上に向けた外部研修への参加
- ・校務におけるクロムブックの活用

